

虹彩だより

平成30年3月版

寒さも徐々に遠のいてきました。桜の開花が待ち遠しい春の到来です！



また年度末で区切りの月でもあります。4月からいろいろなことの始まりの準備等で忙しい時期でもありますね。新たなスタートの前ということもあり「**備えあれば患いなし**」ということわざもあるように皆さんに考えていただきたいという思いで…

今月のテーマは**大規模震災**です

3月11日午後2時46分 国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した東日本大震災。地震と津波による被害は想像を絶する悲惨なものでした。今年で8年目を迎えました。死者・行方不明者合わせて1万8430人と推移されていますが、避難生活などで亡くなったいわゆる震災関連死は3700人以上と、関連死を含めた震災による死者と行方不明者は2万2千人を超えたと言われています。

東日本大震災以降、日本では各地でいろいろな自然災害が起きています。今後、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震が発生する可能性があるとも言われています。この震災の教訓をどのように生かしこれから何が大事なのでしょうか？取り組むべきことは？……

防災に関する専門家の話や、いざというときに役立つ防災グッズ、防災に関する常識等インターネットや TV、ラジオ等情報を得る手段はいろいろとあります。

今は携帯電話からスマートフォンが普及し、国民のほとんどの方が1台は持っているのではないのでしょうか。



Line というソーシャルネットワーキングサービスも爆発的に利用者が増加しています。

Line の既読機能はそもそも**安否確認ができるということ**から考えられた機能とのことだそうです。

グループ line でつながっていることも安否確認の必要な時に大変役立つのだそうです。

Line は若い年代や主婦にはとても人気があり、幅広く利用されているのも「使いやすさ」であり現代にマッチしたツールなのでしょうね。震災時も「いざというときに役立つツール」なのではないのかな？と思います。

地震や洪水等の大規模災害が起こった時、携帯電話ネットワークに頼らず安否確認や情報収集ができる被災地域の人々の為に無料開放される公衆無線 LAN サービス(公衆 Wi-Fi)をご存知ですか？……

「0000JAPAN」

ふぁいぶぜろじゃぱん

といます。

どの通信会社のケータイでも無料で利用可能で、格安携帯(MVNO)でも、Wi-Fi 接続できる機種ならもちろん OK! 当然ながら外国人観光客も利用が可能とのことですよ。

大規模災害が発生して携帯電話ネットワークが広範囲に被害を受け、携帯電話やスマートフォンが長時間利用できないおそれがあると判断されると、災害発生から72時間以内に、この

「0000JAPAN」が解放されるということです。72時間以内というのは、災害時で生存者を救出する際の時間的目安とされている「72時間の壁」が過ぎる前に、通信手段を確保するためです。自然災害とは無縁でいられない。いざというときの為に「0000JAPAN」という無料Wi-Fiの存在をしっかりと覚えておいてください。

使い方や利用時に気を付けたいセキュリティ面での注意点等知っておくとよいと思います。ぜひ調べてみてほしいと思います。

停電時の対策として・・・

例えば 在宅では医療機器を使用されている患者様がいらっしゃいます。吸引器・人工呼吸器・輸液ポンプ・在宅酸素等が挙げられますが、ほとんどの要介護者の方が使用しているのが**電動ベッド・エアーマット**です。常日頃から停電時の電力確保はどうすればよいのかを話し、準備し使用できるよう備えておくことが大切です。

災害時に備えておきたい物品の例

- ・最低3日分の食糧と飲料水
- ・トイレトーパー・ティッシュペーパー
- ・食用品ラップ・紙コップ・割りばし・紙皿・アルミホイル・ビニール袋(大・中・小)
- ・簡易トイレ・紙おむつ・生理用品
- ・保温シート・段ボール・使い捨てカイロ
- ・応急手当用救急キット
- ・卓上カセットコンロ・ガスボンベ・バーベキューセット
- ・自転車等の移動手段



ご自分が住んでいる地域で、災害にあったら・・・

最低限必要な物は何？どこに備えておくの？

どこに避難するのか・・・家族全員で避難場所を確認しておきましょう

重要書類の確認も大切

家族間の安否確認はどうするのか？

以上、災害時の防災知識の一部をご紹介いたしました。これはほんの一部です。いつ起こるのかわかりませんが 備えておくこと で被害を抑える事ができると思います。

起きてほしくない災害。しかし、いつ起きてもいいように常日頃から準備しておきましょう。